

氏名：古賀 美帆

派遣国：中国 北京

期間：2018年9月~2019年7月

私は、約10ヶ月間、中国北京にある中央民族大学というところに留学していました。



～埼玉県 PR 活動～

10月に授業内で1人1人自分の住んでいる国・地域について発表する機会がありました。私のクラスには他にも日本人がいてその子は広島出身でした。彼女が広島を紹介したときは、皆「あー、知ってる、聞いたことある」という反応でしたが、私が「埼玉を紹介します」と言ったときに、「そこ、どこ？」という反応でした。私は、この発表を通して、埼玉は東京の隣にあること、また秩父の美しい風景、古き良き町並みが残る川越のことなどを紹介しました。

私は、皆の反応をみて、もっと埼玉県のことを知ってもらいたいと思い、6月にある文化祭で埼玉のことを紹介することにしました。

浴衣を着て、埼玉県からいただいたパンフレットを使い、1つ1つ沢山のの人に埼玉を紹介しました。皆、興味を持ってくれ、また「日本に行く機会があったら、絶対埼玉に行く」といってくれる人もいてとても嬉しかったです。



～現地での生活～

私が留学をしていた北京は、ほぼ1年中乾燥していて、夏はとても暑く冬は-16度になる日もあるくらいとても寒いです。中国ははっきり言うと、私の想像よりも遙かに生活しやすい、過ごしやすい国でした。中国に行く前は、ごはんは口に合うか、寮は綺麗かなど沢山の心配をしていました。しかし、実際に生活してみると、地下鉄、バスなどの交通の便は東京と同じくらいですし、何より、財布を持ち歩く必要がなく、とても便利でした。中国では、ウィーチャットペイ・アリペイが支払い方法として使われており、携帯さえ持っておけばどこでも品物を買うことができます。この点は、日本より凄く発達しているなと感じました。

また、食事もとても美味しく、1年間で約8キロ太りました。

留学前は、中国人は反日かなと心配していました。しかし、道に迷ったとき、買い物の時、タクシーに乗るとき「何人？」と聞かれ、私が「日本人」と答えると、みんな凄く日本に興味を持ってくれ、また、日本語を勉強中のタクシーの運転手にも出会いました。みんなとても親切です。

留学先の中央民族大学は、中国の少数民族が多く通う大学です。また学校の食堂が美味しいことでも評判です。私は3人部屋でルームメイト2人は韓国人でした。学校のクラスメイトも友達もみんな良い人ばかりです。少数民族が多く集まる大学と言うこともあり、大学のまわりには、少数民族料理のレストラン、ハラールのレストランが沢山あります。その為、大学の留学生のほとんどが、カザフスタン・ウズベキスタンなどムスリム国家出身でした。10ヶ月間毎日楽しく過ごすことができ、人に恵まれてるな、と強く感じました。